



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 極洋

上場取引所 東

コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 小田 匡彦

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	194,388	5.4	3,681	40.7	3,821	28.3	3,222	85.3
2020年3月期第3四半期	205,436	3.9	2,616	20.2	2,979	24.1	1,739	30.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,419百万円 (201.8%) 2020年3月期第3四半期 2,126百万円 (21.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	299.75	
2020年3月期第3四半期	160.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	131,783	37,984	29.1
2020年3月期	111,184	32,593	29.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 38,405百万円 2020年3月期 32,718百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				70.00	70.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	2.8	4,200	43.9	4,500	24.7	3,000	47.3	279.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	10,928,283 株	2020年3月期	10,928,283 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	170,774 株	2020年3月期	187,735 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	10,752,283 株	2020年3月期3Q	10,819,094 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益の大幅な減少が続き、個人消費や雇用に大きな影響を与えました。一時的に持ち直しの動きが見られましたが、11月以降に感染再拡大がみられるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、新しい生活様式の浸透により消費者ニーズや購買動向に変化が見られるとともに、外出自粛や外食店の営業時間短縮などにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』（2018年度～2020年度）の最終年度として、『魚を中心とした総合食品会社として、高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と時間価値の提供により企業価値の向上を目指す』という基本方針のもと、『ESG重視の事業活動』を通じて『拡大』『強化』『均衡』の各戦略を進め、高収益構造へ大きく転換していくことを目指し、目標達成に向け取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,943億88百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は36億81百万円（前年同期比40.7%増）、経常利益は38億21百万円（前年同期比28.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億22百万円（前年同期比85.3%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりです。

## ①水産商事セグメント

最大の需要期である年末商戦において、外出自粛による家庭消費の増加で好調な量販店への販売に注力した結果、高額商品のエビ・カニの販売が昨年を上回りました。また鮭鱒・ホタテなどの取扱も堅調に推移したことから、第3四半期連結会計期間は売上・利益ともに前期を上回りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による、上半期までの北洋魚・エビなどの落ち込みを補うまでには至らず、売上は前年同期を下回りました。利益は鮭鱒の原料及び加工品の取扱量が増加し利益率が改善したことにより、前年同期を上回りました。

水産商事セグメントの売上高は942億42百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は28億41百万円（前年同期比91.6%増）となりました。

## ②冷凍食品セグメント

新型コロナウイルス感染症の影響による外食・業務筋向け需要の減少により、切身やスシダネなどの売上が減少しました。第2四半期連結会計期間の利益は前期を上回るなど、一時的に持ち直しの動きも見られましたが、操業初年度のタイ国新工場の収支も影響し、売上・利益とも前年同期を下回りました。

冷凍食品セグメントの売上高は614億58百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は7億47百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

## ③常温食品セグメント

缶詰販売は、新型コロナウイルス感染症の影響による備蓄品需要の一時的な増加があったものの、量販店のチラシ特売減少などにより、前期並みの販売に留まりました。一方、珍味製品においては、家飲み需要の増加に伴い販売が順調に推移しました。この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

常温食品セグメントの売上高は147億46百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は6億45百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

#### ④物流サービスセグメント

新型コロナウイルス感染症の影響により当初は荷動きが鈍化したものの、経済活動の再開により徐々に回復したこと、また在庫貨物の確保、配送事業強化に努めた結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

物流サービスセグメントの売上高は8億21百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益は2億95百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

#### ⑤鯉・鮪セグメント

加工及び販売事業では、マグロ加工品の販売が堅調に推移しました。また国産養殖クロマグロ事業では、出荷増により売上が伸長し、収支が改善しました。一方で海外まき網事業では、カツオ魚価の低迷が続き、漁獲高も減少したこと、またマダイ養殖事業では、養殖マダイの相場下落により、収支が悪化しました。この結果、売上は前年同期を上回りましたが、利益は前年同期を下回りました。

鯉・鮪セグメントの売上高は227億94百万円（前年同期比2.2%増）、営業損失は69百万円（前年同期は営業利益1億28百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ205億98百万円増加し、1,317億83百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ178億89百万円増加し、1,031億41百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ27億8百万円増加し、286億41百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金や借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ152億7百万円増加し、937億99百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ53億91百万円増加し、379億84百万円となりました。

この結果、自己資本比率は29.1%(前連結会計年度末比0.3ポイント減)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響など、不透明な状況が続きますが、当社グループでは事業環境が徐々に回復していくと想定しており、2020年5月12日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,522	7,595
受取手形及び売掛金	33,444	50,262
たな卸資産	41,044	42,901
その他	4,246	2,390
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	85,251	103,141
固定資産		
有形固定資産	15,976	15,633
無形固定資産		
のれん	9	8
その他	532	512
無形固定資産合計	541	520
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	10,137
その他	5,517	3,963
貸倒引当金	△1,796	△1,613
投資その他の資産合計	9,414	12,487
固定資産合計	25,932	28,641
資産合計	111,184	131,783

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,061	15,362
短期借入金	25,594	21,562
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,032	1,339
引当金	948	427
その他	9,182	9,157
流動負債合計	54,818	57,849
固定負債		
長期借入金	19,124	31,335
引当金	348	331
退職給付に係る負債	3,947	3,958
資産除去債務	51	52
その他	302	270
固定負債合計	23,773	35,949
負債合計	78,591	93,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,308	1,329
利益剰余金	25,895	28,121
自己株式	△471	△430
株主資本合計	32,396	34,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	591	4,126
繰延ヘッジ損益	82	△17
為替換算調整勘定	215	92
退職給付に係る調整累計額	△568	△481
その他の包括利益累計額合計	321	3,720
非支配株主持分	△125	△421
純資産合計	32,593	37,984
負債純資産合計	111,184	131,783

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	205,436	194,388
売上原価	186,586	174,841
売上総利益	18,850	19,546
販売費及び一般管理費	16,233	15,864
営業利益	2,616	3,681
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	122	111
持分法による投資利益	114	84
補助金収入	242	82
為替差益	109	48
その他	166	171
営業外収益合計	759	504
営業外費用		
支払利息	339	290
訴訟損失引当金繰入額	—	7
貸倒引当金繰入額	—	△11
その他	56	79
営業外費用合計	396	365
経常利益	2,979	3,821
特別利益		
固定資産処分益	1	18
投資有価証券売却益	12	1,268
債務免除益	—	165
受取保険金	—	125
国庫補助金等収入	0	63
特別利益合計	14	1,640
特別損失		
固定資産処分損	6	21
減損損失	15	524
災害による損失	71	134
固定資産圧縮損	0	62
訴訟損失引当金繰入額	168	—
投資有価証券評価損	0	—
その他	—	10
特別損失合計	261	753
税金等調整前四半期純利益	2,733	4,709
法人税、住民税及び事業税	1,131	1,841
法人税等調整額	2	△174
法人税等合計	1,134	1,666
四半期純利益	1,598	3,042
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,739	3,222
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△140	△180



(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	3,534
繰延ヘッジ損益	21	△99
為替換算調整勘定	△7	△145
退職給付に係る調整額	92	86
その他の包括利益合計	528	3,376
四半期包括利益	2,126	6,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,259	6,621
非支配株主に係る四半期包括利益	△132	△202

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	101,661	65,939	14,492	727	22,307	308	205,436	—	205,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,165	3,890	228	1,387	3,077	961	36,711	△36,711	—
計	128,827	69,829	14,721	2,114	25,384	1,269	242,147	△36,711	205,436
セグメント利益又は損失(△)	1,482	1,004	533	259	128	△16	3,392	△775	2,616

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額775百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用865百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	94,242	61,458	14,746	821	22,794	324	194,388	—	194,388
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,320	4,086	197	1,480	2,867	1,015	34,967	△34,967	—
計	119,562	65,544	14,943	2,301	25,662	1,340	229,355	△34,967	194,388
セグメント利益又は損失(△)	2,841	747	645	295	△69	14	4,474	△792	3,681

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額792百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用859百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を524百万円計上しております。当該減損損失の計上額は、冷凍食品セグメントにおいて516百万円、鰹・鮪セグメントにおいて8百万円であります。